



吉田保育所

ほほえみつうしん

2011ねん
10～12がつ

益田市水分町7-50
社会福祉法人ほほえみ福祉会
TEL 0856-22-1730
FAX 0856-22-1754
http://www13.ocn.ne.jp/~yosida-h/

さわやかな風が吹き、いちじくや栗が実をつけ秋を感じる頃となりました。実りの秋、秋の味覚を存分に楽しみたいものですね！吉田保育所では、毎年10月に真砂に遠足に行き、さんまを炭火で焼いたりお米を釜で炊いておにぎりにして食べます。秋の味覚を一番おいしい方法でいただきますよ！ご家族でも、七輪の炭火で焼いて味わったり、バーベキューも楽しいかもしれませんね！過ごしやすこの季節、家族で話し合っているような計画を立てるのも楽しいかもしれませんね！

今回、「子どもの心の育ち」について考えてみました。わたしは、長女が小学校3年生の時不登校になり、そのことがきっかけで、不登校の子どもをもつお母さん方と知り合いました。それ以来、数年間ともに話し合い、情報交換をしてお互いの子どもたちの成長を見守ってきました。

自分の子どもがまだ幼いときにどんな子育てをしてきたか、お互いに話すこともありました。その中で、こうすればよかったという共通の思いに気がつきました。それは、『子どものしていることを認めること』『認める』『子どもを信じて待つこと』『信じる』『同年齢の子と比べないこと』『比較しない』『親の都合ばかりを押し付けない』（子どもの気持ちも聴く）です。子ども自身をまるごと受け入れること、そして「そのままのあなたでいいよ」「大好きだよ」というメッセージを言葉や態度で伝えることが、子どもにとって安心感をもち心身の成長を促すのだと思いました。

子どもの不登校という「心のサイン」によって、その子の心の空白に気付かされたわけです。わたしには、三人子どもがいますが、長女は親にとっては初めての子育てになり、子どもへの期待も大きかったり、下の子に手がかかったり、気持ちがイライラしてしまうこともありました。そういう日常の積み重ねで、愛情不足と子ども自身が感じてしまっていたのだと反省しました。仕事が忙しすぎて、余裕がなかったりすることもあると思います。反省を活かしてわたしは、子どもに意識して関わるようにした事があります。それは、子どもの目を見て、話をきくこと、寝る前にひざ抱っこで絵本を読んであげる。休日や時間のゆとりがあるときに、一緒に会話をしながら楽しくクッキングをすることです。はじめは、うまくいかなくてもおしゃべりをしながら楽しく出来るのが子どもには、よかったと思います。また、学校に通えるようになってからは、登校前に、ぎゅっと抱きしめ「いってらっしゃい！」と、笑顔で送り出すようにしました。

以前、「親が一回子どもをぎゅっと抱きしめるのは、保育士が数回抱きしめるのに勝る」という言葉をきいたことがあります。我が子を「大丈夫、見てるよ（見守っているよ）」「大事に思っているよ」という気持ちがあれば、一日一回抱きしめてあげるだけでも伝わるとおもいますよ！

吉田保育所でも「愛いっぱい保育をほほえみの中で」というスローガンを掲げ職員みんなで、愛いっぱいの保育をこころがけています。この幼い時に特に愛情が注がれて育つことが大切だということが、たまたま読んだ江原啓之さんの本にも書かれていたので抜粋して紹介したいと思います。

江原啓之 著「人間の絆 ソウルメイトをさがして」(小学館)より

～前略～ 家族は「愛の電池」を充電する基地 人間が生きていくには愛が必要です。このことについて私はいつも、人間を「愛の電池」にたとえてお話しています。

肉体の成長に食べ物の栄養が必要であるように、心やたましいの成長には、愛という栄養が絶対に欠かせません。人間は愛というエネルギーが充電されて初めて動くことができます。

愛が不足しているたましいは、電池の切れかけた機械のように、動きがぎくしゃくし、ついには誤作動を起してしまいます。～中略～

愛は、一生を通じて欠かすことのできないもの。とりわけ子ども時代にたっぷり愛を注がれて育つことは、きわめて大切なことです。子ども時代に、まわりからじゅうぶんな愛を充電してもらった人は、その後の人生でどんな苦難にあっても堂々と生き抜いていけるといっても過言ではありません。

自分を本当に愛してくれ、子どもらしいわがままを受け容れてくれる家族。その子にとって、そこは一番の「心の安全地帯」となります。このたのしい基地がしっかり存在していると、自信を持って、家族以外の人間関係に歩み出すことができるのです。～後略～

無料託児つきイベントのご案内

- 10月 6日(木) グラントワシアター「第20回しまね映画祭」 小ホール
 - 『伊豆の踊り子』 13:00～
 - 『時をかける少女』 14:40～
- 7日(金) 『野菊の墓』 13:00～
- 『ぼくらの七日間戦争』 14:50～
- 8日(土) 『ビューティフル アイランズ』 1回目 14:00～
- 2回目 18:30～
- 16日(日) 「グラントワ合唱祭 2011年」大ホール 13:30～
- 23日(日) 鼓童 ワン・アース・ツアー ～結成30周年スペシャル～
- 大ホール 14:00～
- 29日(土) 「あとは野となれ山となれ」 小ホール 13:30～
- 11月 19日(土) グラントワシアター『奇跡』 小ホール 1回目 14:00～
- 2回目 18:30～
- 20日(日) 歌劇『セビリアの理髪師』プレトーク 小ホール 14:00～

以上のイベントについてのお問い合わせ先は、グラントワ ☎31-1860

11月13日(日) シンポジウム『しまねの“自然・人・子ども”』 会場：グラントワ 大ホール <9:30～11:30>

シンポジストは、浜田久美子さん(『森の力』著者)、錦織良成さん(映画監督)、安藤幸典さん(小児科医)、相山慈さん(江津あさり保育所長)、コーディネーターは大阪市立大学 山縣文治教授。島根で子育てをすることの良さ・意義を様々な角度から語り合ってもらいます。是非お出かけ下さい。参加ご希望の方には、協賛金500円と引き換えに参加証をお渡しいたします。吉田保育所 or 益田市保育研究会事務局 or お近くの保育所(園)にお申込み下さい。 島根県保育協議会主催です。

一時保育のご案内

急に一日だけでも、週2～3日でも、お気軽に保育をご利用下さい。

1ヶ月に15日まで利用できます。

<利用料>	(一日料金)	(半日料金)
0才のお子さん	1,900円	1,100円
1～2才のお子さん	1,800円	1,000円
3才以上のお子さん	1,700円	900円

*6時半以降は延長保育料金が必要です。

7時までプラス100円

7時半までプラス200円

*日曜、祭日も一時保育をご利用できます。

給食はありません。お弁当をご用意下さい。

<利用料> 2000円(半日料金はありません)

☆2日前までにご連絡下さい。

初めての場所、知らない人たちの中に突然おいていかれた子は不安でいっぱいになります。

できるだけ、ご利用日までにお子さんと一緒に保育所に遊びに来て下さい。サロンへの参加も歓迎します。

一度でも訪問しておく、お子さんは早く慣れることができますし、親の方も、子どもたちが保育所でどんな風に過ごしているのかわかって、安心できますよ。

親のリフレッシュは
安心の気持ちから！

ほほえみサロン

子育て中の親子のための保育所開放です
園児達と一緒に過ごして下さい。

保育所の給食をお試し下さい。

とき 毎週月曜 AM9:00～12:30

ところ 吉田保育所

申込み 前日までにご連絡下さい。

定員一日5組。

利用料 食費：親子で300円

予 定 表

10月

3日「秋の虫を探しに行こう！」(散歩)

17日「さわやかな秋の風！」(外遊び)

*ママのリフレッシュタイム(美容エステ)

24日「おだんごを作って食べようよ！」(クッキング)

31日「どんぐり拾いにいこうよ！」(散歩)

11月

7日「おもちゃをつくってみよう！」(どんぐりの製作)

14日「いっぱい落ち葉であそぼう！」(外遊び)

21日「秋のおはなし、見においでよ！」(パーブサート)

*ママのリフレッシュタイム(美容エステ)

28日「みてみて！できたよ！」(外遊び)

12月

5日「クリスマス、リースをつくろう！」(製作)

(12日 発表会の保育所リハーサルの為

サロンはお休みです。)

19日「ハッピークリスマス」(パネルシアター)

*ママのリフレッシュタイム(美容エステ)

26日「やったー！できたー！」(コーナー遊び)

*予約がいっぱい場合は他の曜日も親子で遊びにきていただけます。

遠慮なくお申込み下さい。

ママのリフレッシュタイム

ほほえみ会員登録者(年会費500円)は無料でご利用いただけます。会員登録を希望される方はご連絡下さい。E-mail yukie-s@sand.ocn.ne.jp

美容エステ

約30分間、マッサージやパックでおくつろぎ下さい。

お仕事や、親が病気などの理由で

夜間の保育が必要になったときには、ご相談下さい。吉田保育所では予約制で夜間の一時保育を行います。

時間帯 18:00～22:00

利用料 お子様一人につき 1時間 1000円

※2日前までの予約が必要です。

申込・ご相談は 吉田保育所 22-1730 ^

ますだしばようごじほいくしつ

ぞうさんのせなか

OPEN

月～土 8:00～18:00

◆*ご利用料金 1日 1500円

*所得非課税世帯 1日 800円

*朝夕の時間延長できます。

お気軽にご相談下さい。

○在宅で子育てされているお子さまや、幼稚園に通っているお子さま、小学3年生までのお子さまもご利用いただけます。

○詳しい利用方法は吉田保育所 TEL22-1730にお問い合わせ下さい。

○吉田保育所 HPでも詳しくご案内しています。利用に必要な諸用紙もダウンロードできます。